



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今年に入って報告数が多い状況が続いています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は発熱・のどの痛み・イチゴのような舌(写真参照)が主な症状です。

赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

●**症状**……突然の発熱とだるさ、のどの痛みで発症し、イチゴのような舌が特徴です。嘔吐を伴うこともあります。細菌の毒素により「猩紅熱」に進行すると、点状紅斑や日焼け様の皮疹が全身に広がります。合併症には、リウマチ熱や糸球体腎炎などがあります。

●**潜伏期間**…2～5日

●**感染経路**…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、細菌が付いた手を介する接触感染です。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭や学校での感染も多いです。兄弟間の感染率は25%とも言われます。

●**流行期**……冬季、および春～初夏に2つの流行ピークがあります。

◆かかったらどうすればいいの？

●抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲みましょう。
●のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防法は？

●症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。手洗い、うがいもしっかりおこないましょう。

●まだまだインフルエンザにご注意を

ホームページ「熊本市感染症情報」もあわせてご覧ください⇒

先週から警報レベルは解除されていますが、まだ患者の報告が続いています。同じシーズンに何回もインフルエンザにかかることもあります。引き続き感染予防に努めましょう。



国立感染症研究所感染症情報センター「感染症の話」より抜粋



期 間		2019年 7週		2019年 8週	
		2/11～2/17		2/18～2/24 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		179	7.16	203	8.12
RSウイルス感染症		15	0.94	5	0.31
咽頭結膜熱(プール熱)		9	0.56	16	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	2.81	53	3.31
感染性胃腸炎		60	3.75	49	3.06
水痘(みずぼうそう)		5	0.31	12	0.75
手足口病		8	0.50	6	0.38
伝染性紅斑(りんご病)		4	0.25	5	0.31
突発性発しん		10	0.63	7	0.44
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		20	4.00	19	3.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		2	0.40	3	0.60